

2020安全・インテグリティ推進講習会

インテグリティへの取り組みのお願い

(公財)日本ラグビーフットボール協会
インテグリティ推進部
アンチ・ドーピング委員会



1. 日本ラグビー協会のインテグリティへの取り組み

2. アンチ・ドーピングへの対応の紹介

3. 取り組みのお願い

インテグリティ追求

<https://www.rugby-japan.jp/jrfu/integrity>

インテグリティ追求について

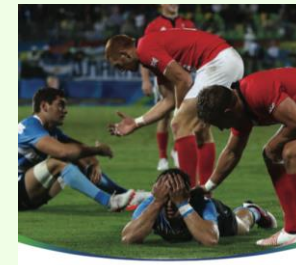
ラグビーの価値を高める5つの要素が「ラグビー憲章」の中で述べられています。ひとつひとつがとても重要な意味を持っていますが、インテグリティは、すべての土台になる基本の姿勢・精神です。

- **品位** **INTEGRITY**
- **情熱** **PASSION**
- **結束** **SOLIDARITY**
- **規律** **DISCIPLINE**
- **尊重** **RESPECT**



品位 (Integrity)

品位とはゲームの精をなすものであり、誠実さとフェアプレーによって生み出される。



結束 (Solidarity)

ラグビーは、生運結く友情、絆、チームワーク、そして、文化的、地理的、政治的、宗教的な相違を超えた忠誠心につながる、一つにまとまった精神をもたらす。



尊重 (Respect)

チームメイト、相手、マッチオフィシャル、そして、ゲームに参加する人を尊重することは、最も重要である。



情熱 (Passion)

ラグビーに関わる人々は、ゲームに対する情熱的な熱意を持っている。ラグビーは、興奮を呼び、愛着心を満たせ、世界中のラグビーファミリーとの一体感を生む。



規律 (Discipline)

規律は、ゲームに不可欠なものであり、フィールドの内と外の高方において、競技規則、競技に関する規定、そして、ラグビーのコアバリューの順守を通じて示される。

ラグビーに関わる人々(選手、指導者、観客、選手の家族、協会関係者など)に、ラグビーの場だけでなく日常生活や社会生活の場において、インテグリティという言葉が意味するところの「品位」「高潔さ」「健全性」を実現するための行動が求められます。

ラグビー憲章は競技規則に記載

WORLD RUGBY ▾ パスポートサイト ▾ 言語 ▾

 **競技規則**
Rugby Union

Home | **ラグビー憲章** | 定義 | 条項ごとに見る | 標準競技規則 | レフリーシグナル | もっと見る...





- ラグビー憲章
- 定義
- 条項ごとに見る
- 標準競技規則
- レフリーシグナル
- 序文
- 競技規則の適用ガイドライン
- XRugby

競技規則オンラインテスト2018年版はこちらから

シンプルになって再編された競技規則を反映した新しい競技規則オンラインテスト2018年版が、ご利用可能になりました。新しいテストを開始するには、現在進行中のテストをリセットして頂く必要があります。

Re-take exam

2019年版ワ
無料の

 **競技規則**
Rugby Union 

はじめに

単なる娯楽としてスタートしたラグビーというスポーツは、世界的なネットワークを誇るゲームへと変容を遂げ、巨大なスタジアムが建設され、複雑な運営組織が作り出され、入り組んだ戦略が構築されてきた。万人の強い興味と関心を引く活動がどれもそうであるように、ラグビーフットボールには多くの特徴があり、いろいろな側面がある。

ラグビーは、男性にも女性にも、男の子にも女の子にも、世界中でプレーされている。6歳から60歳を超える人まで、850万人以上の人々が定期的にラグビーのプレーに参加をしている。ラグビーには様々な種類のスキルや身体的要件が求められるが、そのことが、あらゆる体形、体格、そして、能力を持つ人に参加する機会を与えているのである。

ゲームをプレーすることとその補助的支援とは別に、ラグビーには、勇気、忠誠心、スポーツマンシップ、規律、そして、チームワークといった多くの社会的・情緒的概念が包含されている。この憲章は、競技の方法と行動の評価を可能にするチェックリストを示すためにある。その目的は、ラグビーがそのユニークな特徴をフィールドの内外で維持できるようにすることにある。

この憲章は、ラグビーというスポーツをプレーし、指導し、競技規則を作り、適用する際の基本原則を網羅している。この憲章は、競技規則とともに欠かすことのできない重要なものであり、すべてのレベルでプレーする人たちのための基準を示すものである。

- 品位 (INTEGRITY)
- 情熱 (PASSION)
- 結束 (SOLIDARITY)
- 規律 (DISCIPLINE)
- 尊重 (RESPECT)

“Integrity of Sport” = スポーツの完全性・高潔性

スポーツにおける「インテグリティ」とは、

「スポーツが様々な脅威により欠けるところなく、価値ある高潔な状態」にあることを指す。

Integrity of Sportを脅かす要因



インテグリティのための相談窓口

ラグビーにおけるインテグリティに反する行為に対応するための「相談窓口」を設置
(2018.4)

インテグリティ相談窓口

https://www.rugby-japan.jp/support_center/

対象となる行為

倫理規程第3条第2項に定められた行為が対象

- 指導に名を借りた暴力行為、いじめ、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、差別、暴言等、その他人権尊重の精神に反する言動
- 競技のために、世界ドーピング防止規定・禁止表国際基準に規定する禁止物質を使用すること、または使用させること

(中略)

- その他、著しくスポーツマンとしての品位、名誉に欠ける行為

など

インテグリティ問題発生状況

インテグリティに関する事案を管理
(相談窓口、協会事務所への電話、報道されている問題など)

月	ドーピング	暴力/パワハラ	暴力以外の 不適切な指導	SNS	その他
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					

パワハラ/暴力の問題などを含めて

多様な問題が発生

現場で起きていること

スクールのコーチから暴言や体罰を受けているので、改善を求めたが、嫌ならやめればと言われた

高校でビンタや体罰が横行しており、勉強よりラグビーを取れと言われている

コカインが見つかって逮捕、一週間後に同じチームの選手が逮捕

インテグリティを追求するうえで問題となる行動

- ① ドーピング、パラ・ドーピング
- ② 違法薬物（大麻等違法薬物）
- ③ 違法賭博（違法カジノ等）
- ④ 反社会的勢力との関わり
- ⑤ ハラスメント（パワハラ、セクハラ、アルハラ、モラハラ等）
- ⑥ 差別（人種差別、性差別等）
- ⑦ 試合結果の不正操作
- ⑧ SNSの不用意/不適切な利用
- ⑨ 不適切な経理処理
- ⑩ 私的な利益追求（横領等）
- ⑪ 交通違反
- ⑫ 性犯罪
- ⑬ その他の各種法令違反
- ⑭ ラグビーの価値を下げるすべての行動



どちらもダウンロード可能

コンプライアンスの学習資料



平成29年度スポーツ庁スポーツ界コンプライアンス強化事業
「スポーツ団体のためのコンプライアンス・ハンドブック2018」

[https://rugby.dweblink.jp/images/コンプライアンス・ハンドブック%20\(2\).pdf](https://rugby.dweblink.jp/images/コンプライアンス・ハンドブック%20(2).pdf)

日本財団パラリンピックサポートセンター
『マンガで学ぶスポーツコンプライアンス
～アスリートが知っておくべき大切なコト～』

<https://www.parasapo.tokyo/topics/1860>

スポーツ団体のための
コンプライアンス・ハンドブック2018

平成29年度スポーツ庁
スポーツ界のコンプライアンス強化事業
スポーツ団体におけるコンプライアンス教育

World Rugby提供のe-Learning

Keep Rugby Onside
World Rugby's anti-corruption web site

Keep Rugby Onside ポスター

ログイン 登録

ホーム
本規定の対象者
賭け事に関する制限
八百長
その他の不正行為
インサイダー情報
不審なアプローチ
通報
制裁
子社

World Rugbyとしてコンプライアンス遵守のためのe-Learningを提供

「Keep Rugby Onside」(日本語訳で受講可)
<http://integrity.worldrugby.org/?language=EN&language=ja>

「Keep Rugby Clean」(英語のみ)
<http://keeprugbyclean.worldrugby.org/?language=en>

▶ 協賛者

「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」 (日本スポーツ協会ホームページ)

スポーツ指導者のための倫理ガイドライン

スポーツの意義や価値が改めて問われている昨今、日本体育協会では、スポーツ指導者の望ましい考え方や行動についてガイドラインを策定いたしました。

本ガイドラインでは「スポーツの価値」「プレーヤーズファースト」「フェアプレー」の視点から、安全で、正しく、楽しいスポーツ活動をサポートするためのプレーヤーと指導者の望ましい関係づくりについて解説しています。

また、暴力やハラスメントなどの反倫理的行為が起きる背景や影響、指導者としての注意点なども網羅しています。

スポーツ指導者はもちろんのこと、保護者や審判員、運営担当者など、スポーツに関わるすべての方にご一読いただき、本ガイドラインの趣旨を共有することで、スポーツ界から反倫理的行為を根絶するための一助となれば幸いです。



<内容>

- I. スポーツの意義と価値
- II. スポーツ指導者の役割
- III. スポーツ指導者の心得
- IV. 倫理的問題が起こらないために
- V. 資料編

全文ダウンロード





『実践！グッドコーチング』

暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して

[制作協力] スポーツ庁／日本スポーツ協会

[法律監修] 日本スポーツ法学会

出版社 PHP研究所

税込価格 660円（本体価格 600円）

『まんがでわかる みんなのスポーツ・コンプライアンス入門』



スポーツは、心身の健全な成長・発達を促し、かけがえのない仲間との出会いを生み出し、人生を豊かにしてくれる素晴らしい文化ですが、残念ながら、ルールやフェアプレー精神を守らない行為や規則・法律違反して、からだや心、人格を傷つける事件が数多く起きています。

スポーツ・コンプライアンス教育振興機構は、そのようなスポーツ界の不祥事や事件を未然に防ぐための教育資材として、『まんがでわかる みんなスポーツ・コンプライアンス入門』を発刊しました。まんがと解説、用語集などで、様々な事例をわかりやすく学んでいただけるよう配慮して作成しています。

(発売元：学研プラス / 予価1800円+税)

参考書籍 「スポーツインテグリティの探求」



著作者 勝田隆 / 著 友添秀則 / 監修

出版社 大修館書店

価格 ¥2,500

当書籍は、スポーツインテグリティについて丁寧に説明するとともに、どのように取り組んでいくべきかを構造的に解説しており、スポーツインテグリティを学ぶ方にはお勧めできる書籍です。

参考書籍



イラスト&ケーススタディー80 実践! コンプライアンス

～企業の社会的責任から職場の倫理問題まで～

執筆／監修

[監修] 田中宏司 (BERC理事・首席研究員)

[編] 一般社団法人経営倫理実践研究センター (BERC)

出版社 PHP研究所

税込価格 660円 (本体価格 600円)

スポーツ庁によるコンプライアンス関連資料

http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop10/list/detail/1404866.htm

【日本スポーツ仲裁機構】

- スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン
- スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン不祥事対応事例集


等

／ スポーツ界のコンプライアンス強化事業（2017年度）

スポーツ界における透明性、公平・公正性の確保はスポーツ活動の基盤でありその実現に向け、スポーツが持っている本来の力を損なうことがないよう、平成29年度に日本スポーツ振興センター、日本プロサッカーリーグ、日本スポーツ仲裁機構、スポーツ・コンプライアンス教育振興機構に委託し、下記のとおり、コンプライアンスに関する現況調査を行うほか、スポーツ選手等に向けたコンプライアンス教育の充実や、スポーツ団体の組織運営に係る統一的な評価指標の開発、試行を行いました。

スポーツ界におけるコンプライアンス強化のため、スポーツ団体等におけるコンプライアンス体制の構築・強化に本事業の成果を広くご活用いただくことを期待します。




【日本スポーツ振興センター】

- ▷ 日本スポーツ振興センター成果報告書 (PDF:4.8MB) 

【日本プロサッカーリーグ】

- ▷ スポーツ団体のためのコンプライアンス・ハンドブック2018 (PDF:1.3MB) 

日本スポーツ仲裁機構

- ▷ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン（概要） (PDF:323KB) 
- ▷ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン (PDF:3.3MB) 
- ▷ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン不祥事対応事例集 (PDF:4.3MB) 

【スポーツ・コンプライアンス教育振興機構】

- ▷ コンプライアンス強化事業成果報告書（コンプライアンス教育機構） (PDF:500KB) 

1. 日本ラグビー協会のインテグリティへの取り組み

2. アンチ・ドーピングへの対応のお願い

3. 取り組みのお願い

ドーピングとは？

A collection of various pills and a syringe, symbolizing doping. The pills are scattered across the frame, and a syringe is prominently placed on the right side. The background is dark and textured.

禁止されている物質や方法によっ
て競技能力を高め、自分だけが優
位に立ち勝利を得ようとする、不誠
実で利己的な行為

10のアンチ・ドーピング規則違反

- 1 採取した尿や血液に**禁止物質が存在**すること
- 2 **禁止物質・禁止方法の使用**または使用を企てること
- 3 ドーピング検査を**拒否**または**避ける**こと
- 4 ドーピング・コントロールを**妨害**または妨害しようとする事
- 5 居場所情報関連の**義務を果たさない**こと
- 6 正当な理由なく**禁止物質・禁止方法を持っている**こと
- 7 **禁止物質・禁止方法を不正に取引**し、入手しようとする事
- 8 アスリートに対して**禁止物質・禁止方法を使用**または使用を企てること
- 9 アンチ・ドーピング規則違反を**手伝い**、**促し**、**共謀し**、**関与する**こと
- 10 アンチ・ドーピング規則違反に関与していた人とスポーツの場で**関係を持つ**こと



A. 医薬品

治療使用特例(TUE)が認められる(条件付き)

「**薬**」は医薬品医療機器法により

全ての成分が明確である

【参考: 医薬品医療機器法】

B. 漢方薬

「**生薬**」のため

全ての成分が明確ではない

(原材料の成分が明確ではない)

【参考: 生薬総則】



C. サプリメント

「**食品**」のため

全ての成分が明確ではない

【参考: 食品衛生法第四条】



公財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA)

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



文字サイズ [標準](#) [拡大](#)

? [よくあるご質問](#)

[アスリート&競技団体の方へ](#)

[医療関係の方へ](#)

[教育関係の方へ](#)

[一般の方へ](#)

[企業関係の方へ](#)

[アンチ・ドーピングとは](#)

[ルールと規則違反](#)

[事業と活動](#)

[JADAについて](#)

[FAIR PRIDE](#)

教育関係の方へ

[授業でアンチ・ドーピング
を取り扱う方](#)

[部活動の指導をされている
方](#)

[大学体育会で指導をされて
いる方](#)

部活動の指導をされている方

重要な案内

2018.12.27 [2019禁止表国際基準ポイントを参考資料として公開しました](#)

2018.12.07 [2019禁止表国際基準（日本語版）を公開しました](#)

TOPICS

[一覧へ](#)

2018.12.27 [お知らせ](#) [2019治療使用特例（TUE）国際基準公開を公開しました](#)

2018.12.20 [違反に関する決定](#) [2018-003事件 日本アンチ・ドーピング規律パネル決定について](#)

2018.12.11 [ニュース](#) [2018アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピング・セミナーを開催しました](#)

2018.12.10 [お知らせ](#) [JADAホームページリニューアルのお知らせ](#)

[なぜアンチ・ドーピングが必要なのか](#)

[ルールについて知る](#)

[アスリート&競技団体の方へ](#)

[医療関係の方へ](#)

[教育関係の方へ](#)

[一般の方へ](#)

[企業関係の方へ](#)

[アンチ・ドーピングとは](#)

[ルールと規則違反](#)

[事業と活動](#)

[JADAについて](#)

[FAIR PRIDE](#)

トピックス

[お知らせ](#) >

[ニュース](#) >

[2018年度](#) >

[2017年度](#) >

[2016年度](#) >

[2015年度](#) >

[2014年度](#) >

[2013年度](#) >

[2012年度](#) >

[2011年度](#) >

[2010年度](#) >

[2009年度](#) >

[重要な案内](#) >

[遠征に関する決定](#) >

日本ラグビーフットボール協会と日本アンチ・ドーピング機構によるクリーンなスポーツの環境を守り、フェアネスを推進するアスリートメッセージの制作・発信の協働

2019.02.22

ニュース



日本ラグビーフットボール協会と公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構は、スポーツの基盤となる「フェアネス（公平さ・公正さ）」の推進を目的とし、ロールモデルアスリートによるメッセージを収録した「FAIR PRIDE アスリートインタビュー」を協働して制作致しました。

[動画をみる](#)

[共同リリース（日本ラグビーフットボール協会、日本アンチ・ドーピング機構）](#)

ラグビー × KEEP RUGBY CLEAN



アンチ・ドーピング

あなた自身とラグビーのために



1. 日本ラグビー協会のインテグリティへの取り組み

2. アンチ・ドーピングへの対応の紹介

3. 取り組みのお願い

インテグリティ対応強化へのお願い

日本ラグビー協会に登録されている各チームの皆様は、インテグリティの重要性を理解し、以下の3点についての取り組みをお願いします。

	項目	目的/内容
1	インテグリティ/コンプライアンス/ガバナンス についての学習	何が問題となっているのか、何が問題となるのかを 理解する
2	問題への適切な対応とラグビー協会への報告	問題の解決と実態把握/対策検討
3	JRFU 『インテグリティ相談窓口』 の利用	外部弁護士による適切な対応の実施

【連絡先】 JRFU インテグリティ推進部 齋藤守弘 m.saito@rugby-japan.or.jp